

まちづくり 来 ぶらり

第64号

特集「揚輝荘 聴松閣」

千種区覚王山にある揚輝荘は、大正から昭和初期にかけて松坂屋初代社長 伊藤次郎左衛門祐民氏が造営した別邸です。約一万坪の敷地に三十数棟あまりの建物と庭園が造営されたこの別邸を代表するのが、迎賓館として建てられた「聴松閣」です。

聴松閣は、地上3階・地下1階の建物で昭和12(1937)年に竣工しました。外観は山荘風、内部はインド風、洋風、中国風、和風の部屋など、多様な意匠を取り入れた建築となっています。

祐民(1878~1940年)は、江戸時代以来の老舗「いと呉服店」を百貨店へと一大飛躍させた人物です。百貨店経営者の面だけでなく、名古屋商工会議所をはじめ名古屋勸業協会・愛知県都市計画委員会などの多くの役職を引き受け、名古屋の近代都市化の中心的な担い手の一人でもありました。

平成19(2007)年、聴松閣を含む揚輝荘の北園・南園の土地と建造物が名古屋市に寄贈されました。古図面や遺構などから調査・修復整備が進められ、今年(2013)年8月に復元されました。今後は地域の歴史的文化的遺産として、また市民の交流やまちづくりの拠点としての活用が期待されます。



復元された聴松閣

- ◆関連資料 ※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。
『揚輝荘と祐民—よみがえる松坂屋創業者の理想郷』NPO法人揚輝荘の会／編著 風媒社 (Sc-ヨ)
『芸術工学への誘い 7』名古屋市立大学大学院芸術工学部／編 岐阜新聞社 (1B-ナコ-2003)
『伊藤家伝』岡戸武平／著 中部経済新聞社 (Se-チ)

- ◆揚輝荘
名古屋市千種区法王町二丁目5番地17(南園)、21(北園)
開園時間 午前9時30分から午後4時30分
休 園 日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)、年末年始
入 場 料 一般/高校・大学生300円、中学生以下無料・北園無料
交通機関 地下鉄東山線「覚王山」下車1番出口徒歩10分
問 合 052-759-4450

まちづくりライブラリー

全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料、建築・交通・環境などの図書、研究機関・シンクタンクなどの調査研究報告書などを収集しています。

ライブラリー資料展

「伊勢湾台風の記録」展

2013/7/26(金)~10/23(水)

1959(昭和34)年9月26日に東海地方へ上陸し、観測史上最大の被害をもたらした伊勢湾台風。まちづくりライブラリーでは、当時の被害写真を使用した解説パネルと伊勢湾台風に関する資料を集め展示しています。



「懐かしいまちなみ」の写真をご提供ください

名古屋のまちの姿をいつまでも語り継ぎ、まちづくりの基礎資料とするため、名古屋市内で撮影された「懐かしいまちなみ」の写真を収集しています。明治期から昭和30年代に撮影された写真がありましたら、ぜひご提供ください。



- ・ご提供いただきました写真は、電子データとして保存し、パネル・印刷物等に利用させていただくことがあります。
- ・ご提供いただける場合は、お電話にてご連絡ください。まちづくりライブラリー TEL:052-678-2212

お気に入りの一冊 「文学の街」 名作の舞台を歩く

著 者：前田愛
出 版 社：小学館
請 求 記 号：Tb-マ

街があるところに、文学あり。

絵画における写実主義の影響を受けたのは、画家だけではない。それは文学にまで及び、新たな文章技法を生んだ。ここから成る細かな風景描写からは、物語の舞台となる「街」を鮮明に思い浮かべることができる。しかし、ここで読者の想像した街は、実在の街そのものではない。これを作者は「幻景の街」と呼んでいる。

本書は、「都市と文学のテキスト論」でも名高い前田愛氏によるものである。明治・大正・昭和の街を描いた名作文学作品17編を取り上げ、その作品を街という視点から地図とともに解説をしている。作者の略歴・作品のあらすじも載せているため、その作家・作品を知らなくても楽しめる内容となっている。まだ見ぬ文学・街に夢を抱くのもよし、見知った街に対する新しい発見をするのもよし、好きな作品の舞台となった街に思いを馳せるのもよし、という、三度おいしい一冊となっている。

人生というもの、物語のようなものだ。だから、あなたの住む街は、常に誰かの(或いはあなたの)物語を孕んでいる。あなたが物語を綴れば、その街が「文学の街」そして「幻景の街」になるのである。「書を捨てて街に出よう」、だって、街は文学なのだから。(W)

